

特集

まちづくり、小学生の目線で

—令和元年度松浦市子ども議会開催—



「子ども議会」開催

7月29日、市議会議場において「子ども議会」を開催しました。

子ども議会は、松浦市の未来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらい、地域の一員として主体的に考え、社会に参加する意欲を育てることを目的に開催しています。

子ども議会では、議事進行を行う議長や副議長を小学生議員の中から選出します。本年度は、市内小学校から議員として20人が参加し、総合学習などで学んだことを意見や提案、質問として発言し、市長をはじめ、各担当課長の答弁を受けました。

「子ども議会」の目的

- ・子どもたちに市の取り組みや実態などを止しく知ってもらう。
- ・子どもたちに議会や行政について学んでもらう。
- ・松浦市をもっと住みやすいまちにするために、みんなで率直な意見や考えを出し合う中で、ふるさとを愛し誇りに思う心情を育む。

当日の質問内容を紹介します

当日、子ども議員は各学校単位で市長らに質問を行いました。その一部を紹介します。 ※内容は一部要約して掲載しています。

松浦の「食」を生かした活気 あるまちづくりについて

調川小学校

- ・前田 璃空りあ 議員
- ・青井 汰樹たいき 議員



▲前田璃空 議員

「マグロ」なども有名です。なぜ「アジ」が一番の目玉としてPRしているのですか。なぜ「アジフライ」なのか知りたいです。

【答弁】市長

松浦魚市場は、マアジの水揚げ日本一を誇ってきました。この日本一というアピールポイントを活かして、松浦をPRするため「アジフライでまちおこし」を実施しようと、「アジフライの聖地」を目指す取り組みを始めました。松浦市を知って訪れてもらうことで、松浦市にはアジの他にもサバ、トラフグ、クルマエビ、マグロなどの水産物やメロン、ぶどうなどの農産物など、たくさんの美味しいものがあることや、美しい景色のPRにつながると考えています。

【質問】青井議員

「アジフライ」をPRしたことで、松浦市にはどのような効果がありましたか。観光客数の増減など教えてください。

【答弁】地域経済活性化課長

テレビや新聞など多くのマスコミに取り上げられたことで、松浦市の知名度が上がり、観光客が大幅に増加しています。

実際に今年のゴールデンウィークには、行列ができた店舗やアジフライが売り切れる店舗がいくつもありました。店舗によっては1日50食以上を売り上げており、効果は大変上がっていると感じています。

【質問】前田議員

「アジフライ」の次に、松浦の「食」をまちづくりに生かす計画はありますか。

【答弁】地域経済活性化課長

市では今年度、松浦市の代表的な特産品について、松浦ブランドとして認証し、全国にPRしていく計画をつくりたいと考えています。

【質問】青井議員

「アジフライ」だけでなく、松浦の美味しい海の幸を使ったお寿司、松浦でとれた果物を使った「スムージー」や「スイーツ」を一同に食べることができると、松浦の魅力ある「食」を知ってもらえるのではな

いかと考えます。また、特産品を扱うことができるお店を併設することで、観光業や経済の発展にもつながるのではないのでしょうか。検討をぜひお願いします。

【答弁】地域経済活性化課長

「鷹ら島」ではスイーツトスプリングのソフトクリームやアジフライバーガー、「海のふるさと館」ではお茶サイダーやマーコットのお菓子など、オリジナル商品も取り扱っています。

今後も、魅力的な商品の充実、レストランメニューの見直しなど、松浦市を訪れる方たちに満足していただけるように取り組んでいきたいと考えています。

旧大崎小・旧田代小の利活用について

御厨小学校

- ・白石 滯みお 議員
- ・濱田 真衣まゐ 議員



▲白石滯 議員

【質問】前田議員

現在、松浦市では「アジフライの聖地」を宣言し、様々なPR活動が行われています。しかし、松浦では「アジ」の他にも、「サバ」や「トラフグ」「クルマエビ」

▼青井汰樹 議員

